

頭痛の治療

こじま脳神経外科・内科クリニック
236-0042 横浜市金沢区釜利谷東6-21-1
電話 045-791-3177

迅速診断を目標に新患の方は電話予約していただければその日に結果までご説明して治療を開始いたします。CT検査の所要時間は1-3分程度です。

CT検査:初診の場合3割負担で5200円です。

当院ではCT検査の結果の写真をコピーしてお渡しています。

頭痛の患者は頭痛の種類により薬による治療、ブロック注射、レーザー治療など組み合わせて行います。

頭痛の内服治療

片頭痛: 予防薬はテラナス(カルシウム拮抗剤)で血管の収縮を予防しそれでも頭痛発作があったときにトリプタン製剤(ゾーミック、レルパックス、マクサルト、イミグラン、アマージ)で血管の拡張を軽減させます。予防薬は1日2錠で頭痛が2ヶ月なければ1錠にしそれでも頭痛なければ一旦中止します。テラナスが効果ないときは抗けいれん剤などに使用するデパケンR、トピナ、イーケプラや高血圧に使用するARB製剤のプロプレスなどのを処方します。

抗うつ剤のトリプタノールも効果あります。

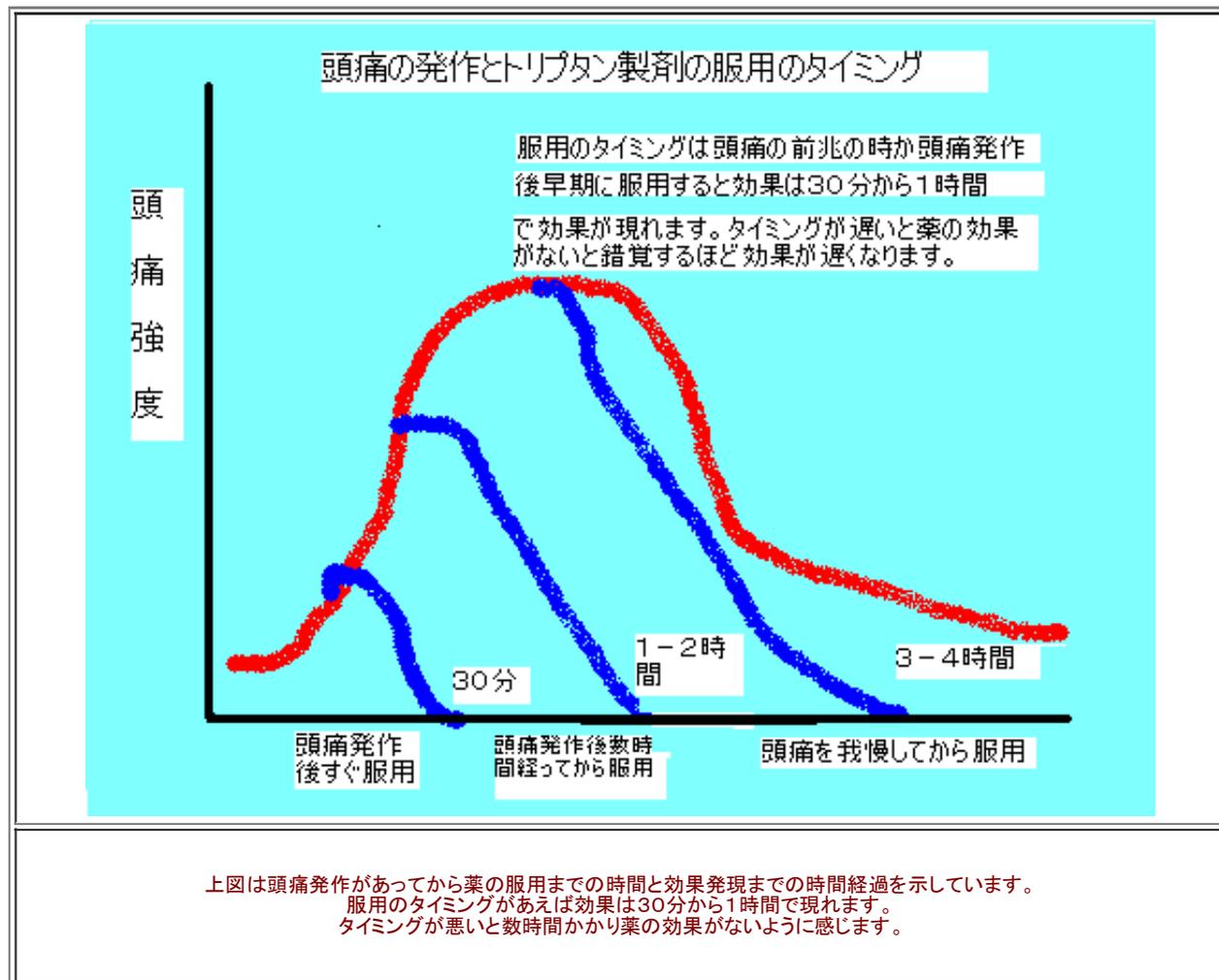
新しい抗けいれん剤のイーケプラにも片頭痛の予防効果が証明されました。月の発作回数が5回が1回、9回が2回など減少しました。(CLINICAL NEUROPHARMACOLOGY 29,6 338-342,2006)

食事による予防: マグネシウムを多く含む食品に予防効果があります。

具体的にはすりごま、豆乳、納豆などです。

トリプタン製剤にが口腔溶解錠、鼻スプレータイプ(イミグラン)があります。

トリプタン製剤の服用は頭痛が起きそうときや頭痛発作の早期(前兆の時期か発作初期)に服用すれば1-2時間で効果が見られます。2時間経過しても効果なければ2錠目を服用してください。ゾーミックは1日4錠まで、レルパックス、アマージは1日2錠まで、アマージは効果が長く頭痛の再発を抑えます。アマージの2回目は4時間あけてください。飲むタイミングを逃した場合は1回に2錠服用するか点鼻薬(イミグランスプレー)を使用してください。頭痛発作から数時間経過して吐き気などがひどい状態で服用すると効果発現まで4-5時間必要です。

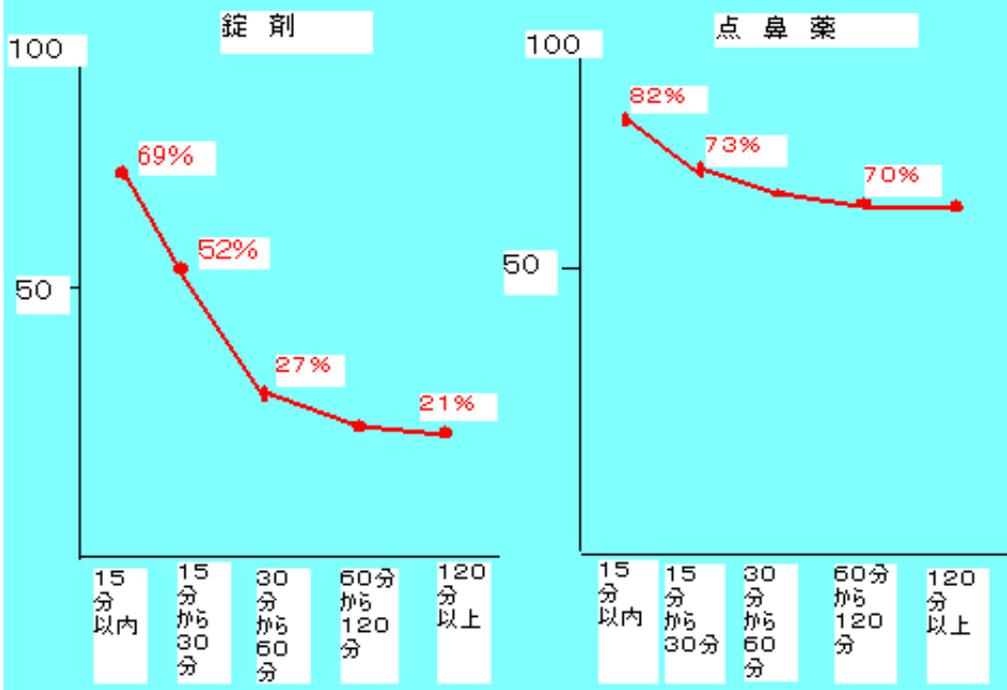


トリプタン製剤の剤形別の有効率

効能は注射剤>点鼻薬>錠剤の順に有効です。

使いやすいのは錠剤ですので早めに服用してください。もし頭痛で目が覚めたときは最初から2錠内服してください。点鼻薬があればそちらが有効です。内服でも効果がない時は注射が必要ですので受診してください。

イミグラン各剤形における服用タイミング別の頭痛早期軽減率



「診断と臨床」94(11):2149-2168, 2006

トリプタン製剤の効果出現時間と効果持続時間

	イミグラン注射	マクサルト	イミグラン点鼻薬	レルパックス	イミグラン錠	ゾーミッグ	アマージ
効果発現時間(時)	0.21	1.0	1.3	1.0	1.8	3.0	2.68
効果が半分になる時間	1.46	1.6	1.87	3.2	2.2	2.4	5.05
1回最大量(錠)	1アンプル	1	1	2	2	2	1
1日最大使用量	2アンプル	2	2	2	4	4	2
その他	頭痛最大発作に有効	群発頭痛に有効	吐気のおきに有効	一般的な片頭痛に最初に使う	授乳中にも使用可能	小学生に使いやすい	月経にからんだ片頭痛に有効

月経前後の頭痛 予防薬 テラナス、デパケン 発作時はレルパックスはアマージュとロキソニンの併用が効果あります。

妊娠中の服用: カロナールを2T内服してもらいます。効果なければイミグランを服用(催奇形性は少ないとされています)。

授乳中: イミグランを内服後12時間あければ授乳しても支障ありません。

片頭痛と漢方薬 体力は弱く冷え性気味の方はツムラ呉茱萸湯(ごしゅゆとう)を用います。冷え性がない人にはツムラ五苓散を用います。月経の時の頭痛にはツムラ当帰芍薬散を用います。

イミグラン自己注射 トリプタン製剤の服用では頭痛発作がおさまらない方はイミグランを自分で皮下に注射する方法があります。手順 1、受診して自己注射したい旨を話します。 2、クリニックは注文を受けてから注射器(スターターパック)と薬剤(1パックに2本入っています)を発送します。3、次回受診日に注射の仕方の説明を受けてください。保険適応で3割で約7000円です。 **グラクソの会社が提供する注射の仕方**

トピックス: 狭心症、脳梗塞の方はトリプタン製剤は血管を収縮する作用のため使えません。

痛みの神経ペプチドを抑える薬がいずれ発売されます。

gepant系薬剤 (telca-gepant300mg); 効果はトリプタン製剤と同じです。脳梗塞、狭心症の方も使えます。

慢性片頭痛: 片頭痛が慢性化してマインチズギズキして鎮痛剤を習慣的に飲んでいることが多い。

鎮痛剤の服用をやめてランドセンの服用とアマージュの頓服で経過をみます。症状の程度でトリプタノール(抗うつ剤)、ドグマチール(精神安定剤)、リスパダール(向精神薬)、SSRI製剤を使用します。

群発頭痛: 予防には不整脈の薬であるワソラン(2012年9月より保険適応可)を1日4-6錠服用し、それでも頭痛発作があればレルパックスを頓服で服用してもらいます。頓服は1時間たっても効果ないときはもう1錠服用してください。ワソランで効果が少ないときはステロイドを処方します。イミグラン注射キットが発売され自己注射可能になりました。

筋緊張性頭痛: 筋肉弛緩作用のあるデパス、テルネリンなどを服用してもらいます。デパスは習慣性があるため当院では1錠以上は処方しません。時にSSRIなどの抗うつ剤も有効です。

緊張性頭痛と漢方薬にはツムラ釣藤散を用います。

大後頭神経痛、後耳介神経痛:ブロックで治療します。1回のブロック注射で10人中9人は治ります。
 低髄液圧症候群(髄液漏出性頭痛):とりあえず安静です。3日間は自宅安静で動いていいのは食事とトイレのみです。それ以外はベッド上で横になってください。水分を多く摂取し場合によっては点滴します。この安静の治療で効果ない時はブラッドパッチという治療をします。これな入院してもらい背中の硬膜外に自己の血液を約30ml注入して髄液が漏れているのを防ぎます。入院は7日から10日です。
 神奈川県で低髄液圧症候群の治療のできる病院:麻生病院の脳外科をお勧めします。
 穿刺様頭痛:1日数十回ずきずきとした痛みがあればインドメタシン製剤を処方します。
 頭痛と漢方薬

	効 能	用法量
ツムラ釣藤散	慢性頭痛、筋緊張性頭痛	5g-7.5g 食前
ツムラ呉茱萸湯	痩せ型の片頭痛	5g-7.5g 食前
ツムラ五苓散	天気頭痛、月経頭痛	5g-7.5g 食前
ツムラ六君子	小児の慢性頭痛	2.5g-5g 食前
ツムラ桂枝梅茯苓丸	更年期に伴う頭痛	5g-7.5g 食前



脳神経外科領域の手術で相談の方は予約してください。
 最適な治療を見つけるべく相談お受けします。

入院が必要なときは[横浜南共済病院](#)、[横浜市大病院](#)、[横浜市脳血管センター](#)、[水戸医療センター](#)、[東京都済生会中央病院](#)、[金沢病院](#)、[国立横浜医療センター](#)、[若草病院](#)などに紹介いたします。